



カザフスタン

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日: 2014年 8月25日
- 調査場所 : アスタナ市(カザフスタンの首都、1997年にアルマティから遷都) 旧市街
- 調査対象 : アクロム(仮名)さんの一家
- 為替レート : 1円 ≒ 1.75 カザフスタン テンゲ(2014年8月25日現在)



アクロムさんの一家



家族構成	アクロム(仮名)さん(39歳) 妻(41歳) 長女(11歳) 長男(4歳)
世帯収入	200,000 テンゲ/ 月
職業	アクロムさん: 金鉱山会社の運転手 妻: ブティックの店員
勤務日数	アクロムさん: 週5日(土・日曜日は基本的に休み) 妻: 7日間勤務・7日間非番のシフト制

アクロムさん (39歳)

職業: 金鉱山会社の運転手

趣味は釣りです。水面が凍る11月から4月までの期間以外、よく友達と釣りに出かけます。他に、ロシア風呂や夏秋のきのこ狩り、歴史ものやフィクションの小説を読むのも好き。

お酒は飲みません。

通勤や長男の幼稚園の送迎など、会社の公用車を自由に使わせてもらっています。

今欲しいものは、「家のローン返済」「寝室が3つある家」「自家用車」

車のことならオイルやフィルターの交換から修理まで何でもできます。また、浴室やトイレのタイルの貼り替えなど、家の補修や電気製品の修理も自分でします。

週末には家族そろって公園に行ったり、母や親戚の家を訪ねたりします。



妻 (41歳)

職業: ブティックの店員

趣味は料理、読書、テレビを見ることです。

今欲しいものは、もう少し広い家とリビングの家具。それと、海を見たことがないので、どこか旅行に行きたいです。

休みの日は、パズールに行ったり、家族そろって親戚や友達の家を訪問したり、自宅に招いたり、家事をしたりします。

ソビエト連邦時代からの慣習で、通常、アパートの住人同士はあまり付き合いがありませんが、私たちは廊下で隣近所の人とよく雑談をします。



アクロムさん一家の紹介



アクロムさんと長女



妻と長男



飼い猫のケーシャ

● **アクロムさん:**
アスタナ生まれ。
高校を卒業し兵役を終えた後、運転手となり、現在の金鉱山会社の仕事に就いて3年目になる。

● **妻:**
ウクライナ生まれ。
3歳のときに両親と共にアスタナ郊外の村に移住した。高校卒業後、一人でウクライナの故郷の村に戻ったが、家族と別々の生活が難しく、1年後に再びカザフスタンに戻った。
夫と同様大学には通えず、長らく菓子職人やウェイトレスとして働いた。
現在は“ジェントルマン”という紳士服のブティックで店員として働いている。

● **長女:**
シュコーラ(小・中・高一貫教育11学年制)の5年生で、午後2時または3時から夜7時までで5~6科目の授業を受ける。学校は自宅から300mと近く、授業が終わるとすぐ家に帰ってくる。友達との散歩やダンスが好き。

● **長男:**
私立幼稚園の年長組。カザフスタンの公立幼稚園は、子供が生まれるとすぐに入園の申し込みをしなければならず、しかも入園するのが難しい。結局、公立幼稚園には入れず、私立幼稚園に入園した。しかし、家のローンもあり家計が苦しいため、幼稚園側と交渉し、月に10日間だけの登園で、園費を半額の20,000テンゲにしてもらっている。
幼稚園に通わない日は妻が、土日に両親とも仕事で不在のときは長女が面倒を見ている。

● **ペットの猫:ケーシャ**
アクロムさん一家はみな猫が好きで、3歳のケーシャを飼っている。
ケーシャの泣き声が“ママ”と聞こえるので、“言葉を話す猫”としてYouTubeに投稿したことがある。

家族の職業

● **アクロムさん:**
現在勤務している金鉱山会社の本社はカザフスタン西部のアクトベ市だが、アクロムさんはアスタナ支社に勤務し、経営幹部の運転手をしている。また、政府省庁等との打合せに訪れた本社職員の送迎をすることもあり、深夜や休日出勤も少なくない。基本的に土・日曜日は休みだが、勤務日は実質決まっていない。現在運転している公用車はヒュンダイのセダン。カザフスタンの会社では余り例がないが、アクロムさんが酒も飲まず真面目で信用があるため、通勤や長男の幼稚園の送り迎え、昼食時に自宅への立ち寄り際など、私用に公用車を使うことが許されている。



アクロムさんが運転する会社の公用車

家族の職業 —つづき—

- 妻：
現在、“ジェントルマン”という紳士服のブティックで店員として働いている。初めは同系列の小さなブティックでの勤務だったが、店の売上げを伸ばしたことが認められ、アスタナ市内の中央デパートに入っている店舗に栄転した。ブティックでの勤務は朝10時から夜10時までで、片道20～30分かけてバス通勤している。昼食と夕食は職場でとる。

家計収支

月間世帯収入内訳

名前	職業	月収の内訳 (テンゲ)	月収 (テンゲ)
アクロムさん	金鉱山会社の運転手	月給: 120,000 + 報奨金: 20,000	140,000
妻	ブティックの店員	月給: 30,000 + 歩合給: 25,000 ~ 30,000	60,000
合計:			200,000

カザフスタンでは、就業規則に反した場合でも給料の減額は法律上認められておらず、報奨金より差し引かれるが、アクロムさんは遅刻等もなく、いつも満額をもらっている。

妻の勤務しているブティックは売上げが安定しているため、手堅く月60,000テンゲの収入となっている。

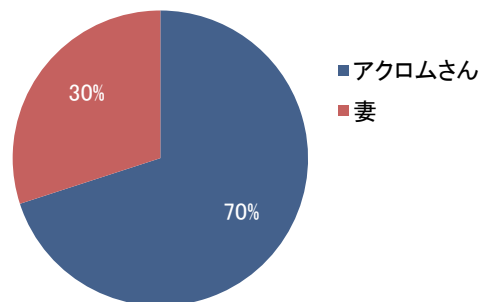
その他の収入はなく、財産・貯蓄はない。

もう1部屋あれば、低所得家庭でよく行われているように、学生に部屋を貸して月に50,000～60,000テンゲの家賃収入が得られるが、夫婦専用の寝室さえ無い、狭いアパートのためにそれもできない。

※アスタナの家賃はここ10年で5～6倍に高騰している。

カザフスタンでは、石油開発関連会社社員やエンジニア、教師、会計士、銀行員などが高収入を得ているが、アクロム夫妻は高等教育を受けていないため所得水準が低い。生活費に加えローンの返済があり、また子供には将来十分な教育を受けさせたいと考えているため、夫婦共働きをしている。

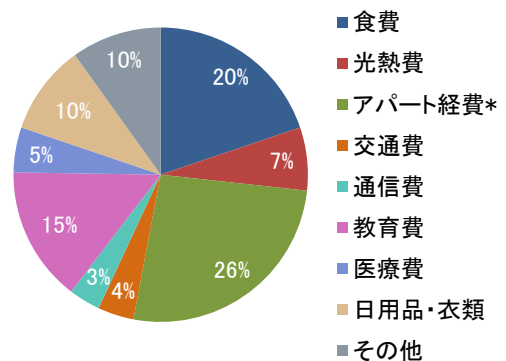
月間世帯収入の内訳



月間支出内訳

支出項目	支出金額 (テンゲ)
食費	約 40,000
光熱費 (電気/水道/ガス/暖房費)	約 14,000
アパート経費 (ローン/共益費/ごみ収集費)	約 53,000
交通費	約 8,000
通信費 (電話/インターネット/ケーブルTV)	約 7,000
教育費	約 30,000
医療費	約 10,000
日用品・衣類購入費	約 20,000
その他	約 20,000

月間支出の内訳

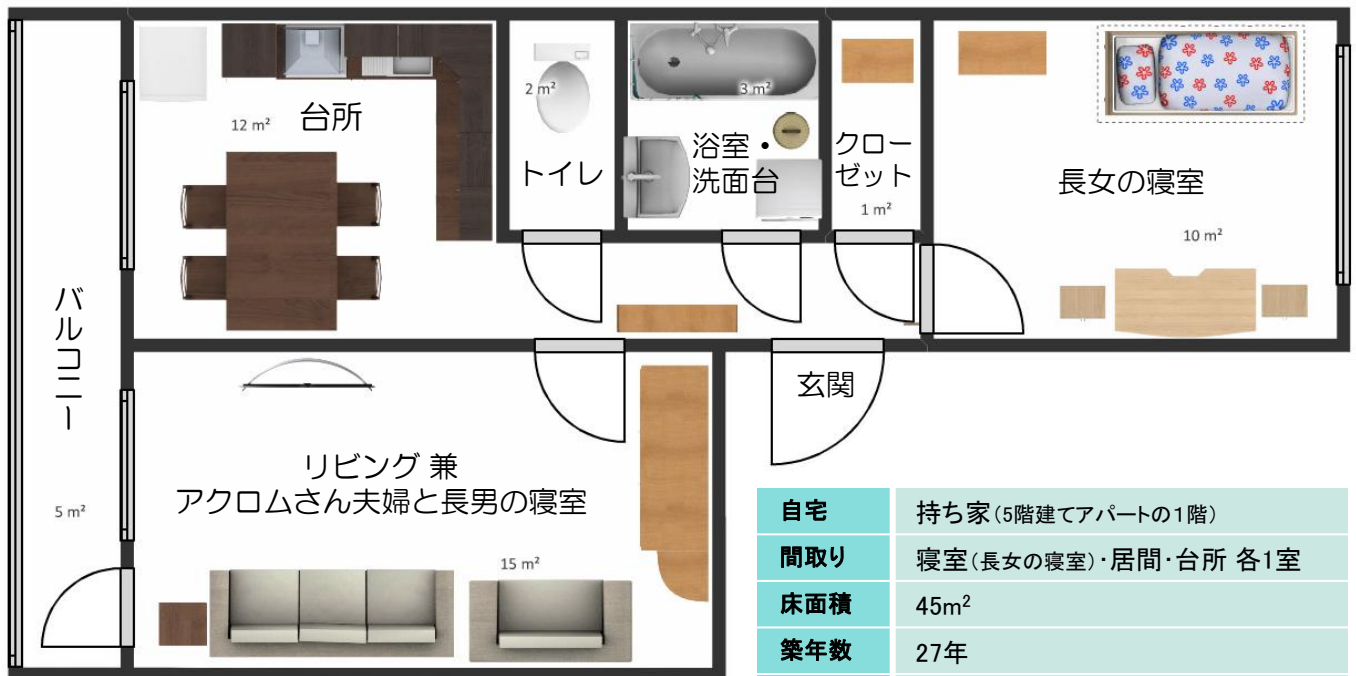
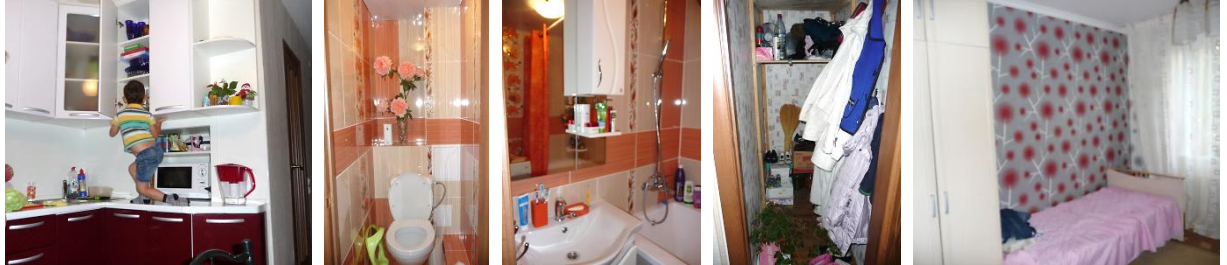


*: ローン/共益費/ごみ収集費



住居

アクロムさん一家の自宅は首都アスタナの旧市街地、画一的な町並みがつづき社会主義国家独特の面影が今なお残る、イシム川沿いの住宅地にある。対症的に川の対岸は、日本の建築家・黒川紀章氏が都市計画した近代的な町並みが広がっている。この地域は“若年家族の住宅地区”と呼ばれ、1986年に当時のソビエト連邦政府が若年世帯用の職員住宅として5階建てアパートを建設した。アクロムさんは、それまで住んでいた分譲アパートを抵当に入れてローンを組み、2012年にこのアパートを購入した。その後、テング・不動産相場が下落したにもかかわらずローン利子は上昇。結果、ローンの返済額が増え、現在の家計を大きく圧迫する要因となっている。



自宅	持ち家(5階建てアパートの1階)
間取り	寝室(長女の寝室)・居間・台所 各1室
床面積	45m ²
築年数	27年
電気	引かれている
水道	引かれている
ガス	引かれている (カザフスタン北部ではまれ。ソ連時代に建てられたアパートには整備されたが、近年の新築アパートなどには引かれていない。)



リビングのソファベッド



リビングのサイドボード

- アクロム夫妻と長男は居間で寝るため、狭いスペースを有効利用できるようにテレビは壁掛け型、ベッドは折りたたみ式でソファ兼用となっている。広いバルコニーがあり、夏はそれほど暑くないことからエアコンはない。冬の寒さが厳しいカザフスタンでは、どのアパートにもセントラルヒーティング設備が整っているが、それでも寒いのでオイルヒーターを使っている。



アパートの外観



アパートの入口



ガスメーター

住宅事情と背景



近隣のアパート

ソビエト連邦(以下ソ連)当時は、全ての企業や団体が国営で、職員に無料で住宅を与えることが義務付けられていた。所得レベルにかかわらず全国民が住宅を持つことができ、低所得者層が生活するうえで重要な要素となっていた。1991年のソ連崩壊以降は住宅の個人所有が認められ、自由に売買することが出来るようになると、特にインフラの整っていない郊外から、インフラが整備された快適な生活環境やより良い職を求めて、大都市に人口が流入。賃貸住宅の需要が急増して不動産ブームとなった。そのため、住宅建設会社が分譲住宅購入希望者から資金を集めて盛んにアパート建設を行い、金融機関も住宅ローンの条件を緩和するなどして住宅市場はバブル状態となった。しかし、2007年のリーマンショックに端を発する金融危機で多くの建設会社が倒産し、アパート購入を希望し出資した人々の中には、出資金を失い、物件も手に入ることができない事態に陥る人も数多くいた。

カザフスタンにおける宗教

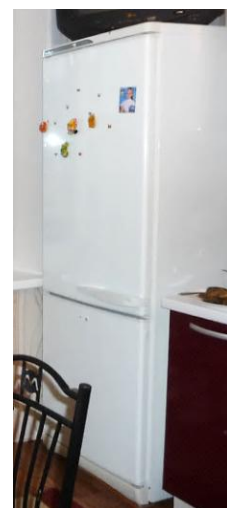


サイドボードの棚に飾られたアイコン

宗教色の薄いカザフスタンだが、イスラム教とキリスト教(東方正教)の信者が多い。アクロム夫妻はキリスト教徒ではないが、カザフスタンに住んでいるスラブ系の多くが伝統的にアイコンを飾るように、自宅には小さなアイコンを祀っている。

所有家財・家電製品等

品目	ブランド(国)	使用年数	備考
液晶テレビ	LG (韓国)	1年	
ホームシアター・セット	Panasonic (日本)	1年	
パソコン	—	古い	主にアクロムさんが使用
携帯電話	Panasonic (日本)	—	
洗濯機	LG (韓国)	15年	
掃除機	Vitek (台湾)	6年	
冷蔵庫	Stinol (ロシア)	15年	
ガスコンロ	Hansa (ポーランド)	4か月	
電子レンジ	Panasonic (日本)	10年	
電気ピザ・オーブン	Geepas (中国)	10年	
電気フライヤー	Moulinex (フランス)	10年	
電動ミンサー	National (日本)	12年	
アイロン	Panasonic (日本)	3年	
オイルヒーター	NOVA (不明)	—	
電動バイク	Cyclon (中国)	1年	親戚からの贈り物
子供用自転車(2台)	(ウクライナ製)	2か月	親戚からの贈り物



冷蔵庫



自転車



ホームシアター・セット



洗濯機



掃除機



携帯電話



ガスコンロ



オイルヒーター

JETRO

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.



食事

買い物:

食材は、アクロムさんの給料が出た後、主に格安スーパーマーケット“Small”でシリアルや野菜、洗剤、その他日用品を1ヵ月分まとめて買う。

鶏肉は近くの店で買う。野菜や果物については、夏場は路上販売されているものが一番安いのでそれを購入し、冬場値段が最大5～6倍に高騰する時期は、市内のディスカウントストアで買うようにしている。日々のパンや牛乳、チーズなどの乳製品などは、近くにあるコンビニのような店で買う。

アクロムさんの母と妻の両親がアスタナ市郊外の村に住んでいて、肉などが安く手に入るため、年に5回ほど豚肉や家鴨、ガチョウの肉、卵などを届けてくれる。

料理:

妻は幼い頃から料理が好きで、電気フライヤーや電動ミキサー、ピザオーブンなどの調理器具を使い、色々な料理を作る。また、漬物が得意で、冬用のピクルスやザワークラウトを夏に漬ける。妻の両親もナスやズッキーニのマリネを作り送ってくる。

妻は7日間続けて仕事があるので、暇を見つけては次の日のために料理を作っている。

肉類は豚肉をよく食べる。牛肉も食卓に上がるが、羊肉は食べない。

主な食事のメニュー: キャベツとトマトのウクライナ風ボルシチ、蕎麦の実や豆料理、鶏とヌードルのかたばみスープ、牛肉のマヨネーズ煮、スペアリブ、ダンプリング(餃子)、ベシュバルマク(肉ワンタン)、マンティ(肉まん)、ピザ、パイ 他

調査で訪れた日は、ボルシチとアクロムさんが釣ってきた魚のフライを作っていた。



魚のフライとボルシチ(右奥)



パイ(イメージ)

食事:

朝食はお茶だけで済ませている。昼食は、妻は弁当を職場で食べ、アクロムさんは自宅に戻って食べる。夕食は、妻が非番のときは家族そろって、勤務の時はアクロムさんと子供たちだけで食べる。長女は昼食を食べてから登校し、長男の幼稚園では、朝昼と軽い夕食の給食が出る。

妻が様々な料理を作れるため、外食はしない。



家族揃って食卓を囲む



近所の青果店



料理中の妻



冷蔵庫の中
(自家製のピクルスが入っている)

■ アスタナにおける主な食材の価格(1kgあたり)

品目	価格(テンゲ)
パン(小麦)	100
パン(ライ麦)	130
小麦粉	144
パスタ(0.5 kg)	130 ~ 200
米	280
そば粉	185
カラス麦	165
セモリナ粉	165
精白大麦	165
キビ	165
ジャガイモ	100 ~ 120
ニンジン	110 ~ 130
キャベツ	90 ~ 250
キュウリ	360
トマト	250
ビーツ	220
リンゴ	360 ~ 660

品目	価格(テンゲ)
洋ナシ	660
オレンジ(モロッコ産)	385
バナナ	335
牛肉	1,600
羊肉(食べないが参考まで)	1,500 ~ 1,700
馬肉	1,800
鶏肉	720 ~ 1,140
牛乳	295 ~ 340
ケフィア(ヨーグルト)	180 ~ 215
カード(カッテージチーズ)	900 ~ 1,100
チーズ	1,800 ~ 2,280
バター	1,300 ~ 2,200
卵(10個)	395
ひまわり油	360
粗塩	55
砂糖	220
茶(100 g)	240

※表記は夏季の価格。冬季には野菜や果物の価格が最大5~6倍になる。また、毎年最大20%値上がりしている。



JETRO



時間

平日	アクロムさん	出勤日	妻
07:00	起床	07:00	起床
07:05 ~ 07:45	シャワー、出勤の準備	07:05 ~ 07:15	シャワー
07:45 ~ 08:00	朝食(お茶)	07:15 ~ 09:30	家族の朝・昼・夕食を料理
08:00 ~ 08:20	長男を幼稚園に連れて行く	09:15 ~ 09:30	化粧
08:20 ~ 08:45	出勤	09:30 ~ 09:45	バスで出勤
09:00 ~ 12:40	勤務	09:45 ~ 10:00	ブティック開店準備
12:40 ~ 13:40	自宅で昼食	10:00 ~ 13:00	勤務
14:00 ~ 18:00	勤務	13:00 ~ 14:00	昼食(店で弁当)
18:00 ~ 18:20	幼稚園に長男を迎えに行き一緒に帰宅	14:00 ~ 19:00	勤務
20:00 ~ 20:30	夕食	19:00 ~ 19:20	夕食(店で弁当)
20:30 ~ 24:00	テレビ、読書	19:20 ~ 22:00	勤務
24:00	就寝	22:00 ~ 22:30	閉店・帰宅
		22:30 ~ 23:00	軽い夕食とお茶
		23:00 ~ 24:00	テレビ
		24:00	就寝

仕事のない週末	アクロムさん	仕事のない日	妻
08:00	起床	08:00	起床
08:05 ~ 08:45	シャワー	08:05 ~ 08:30	シャワー
09:00 ~ 09:30	朝食	08:30 ~ 09:00	化粧
09:30 ~ 11:00	妻の家事手伝い	09:00 ~ 13:00	数日間分の食事の料理
11:00 ~	夕食まで外出 (友達と釣りやサウナ、家族と 買い物や母の家など訪問)	13:00 ~ 13:45	家族と昼食
		13:45 ~ 14:00	長女の登校準備
		14:00 ~ 22:00	夕食まで掃除や洗濯などの家事、 買い物や親戚訪問などの外出、 読書、テレビなど



【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。